

〇〇川河川水位警報装置の概要

〇〇川へ河川 水位警報装置 の設置

〇〇川に流れる水量の現状は少ないが、近年頻発するゲリラ豪雨による急な増水が予想される。

発注図に記載の HWLからも相当量の水量となる事が推察される。

災害防止の観点から、〇〇川上流部に河川水位警報装置を設置し、リアルタイム監視を行う他、回転灯及び警報音声により即時避難ができる体制を整える。

警戒基準 ～ 平水位 + 50 cm以上

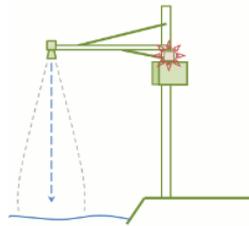
中止及び避難基準 ～ 平水位 + 70 cm以上

測定方法 ～ 現場水位計

測定箇所 ～ 〇〇川上流

再開基準 ～ 水位が70 cmより下がり、現場を巡視して、危険がない場合

河川の増水→センサー検知→警報ランプ点灯。メール送信→退避



河川上流部に 設置された水 位センサー等



水路上部のバーに超音波センサーが設置されていて水位が一定以上上昇すると、後部の発信機から下流の警報装置及び登録してある携帯電話に通報される。